

成瀬ダム事業に関する参議院選挙立候補予定者に対する公開質問状

2010年6月23日

参議院選挙秋田選挙区立候補予定者

様

成瀬ダムをストップさせる会一同

連絡先（質問状返送先）

事務局 横手市十文字町下佐吉開 28

熊沢 文男 Tel 0182-42-2311

国政および秋田県民の生活の向上と安定のため、日夜ご奮闘なされていることに対し、心からの敬意を表します。

さて、私たちは、来る参議院選挙に当たり、成瀬ダム問題が国政と秋田県の今後の進路にとって選択すべき重要な問題になっているとの認識から、これに関する質問を、今日現在立候補の表明をしておられる全ての候補者に、公開にて行なうことを決定しました。

つきましては、次ページの質問にご回答くださり、6月26日（必着）までにご返送くださいますようお願いいたします。

質問の主旨

東成瀬村に建設が進められている成瀬ダムは、平成13年5月29日の国土交通省告示第887号により正式に建設が認可されました。総事業費は1530億円、秋田県の負担は260億円といわれています。

ところが、昨年の政権交代によって、国直轄で本体工事前のダムについては見直し（検証）がかけられることになりました。現在、国交省の有識者会議において「ダムに頼らない治水のあり方」が議論され、その中間報告が参議院選挙後に発表されると報道されています。そのなかには、ダム事業に対する検証の判断基準も公表されるとしています。

おりしも、経済情勢、財政状況が極めて厳しいもとの、参議院議員選挙が行われます。経済、財政、社会保障、外交など重要な課題はありますが、公共事業もまたしかりです。私たちは、この成瀬ダム事業の今後について、秋田県民みんなが考えていかなければならない問題だと思っています。どうぞ、真摯なご回答をしていただき、参議院選挙に当たり、県民にひとつの判断材料を提供していただきますようお願いいたします。

参議院議員選挙秋田選挙区立候補予定者

様

質問1 成瀬ダムの今後について次の選択肢の中から、公約として掲げるとき、最も近いものをお選びください。

- ① 成瀬ダム事業の必要性は変わっていないので、事業を継続して進める。
- ② 成瀬ダム事業の必要性は低いので、中止の方向で対応する。
- ③ 成瀬ダム事業についてはきちんとした検証作業を行った後、結論を出す。
- ④ わからない。

質問2 成瀬ダム事業に関して付け加えるようなお考えがありましたら、ご自由にお書きください。

質問3 今後あるべき国のダム（治水、利水）政策について、最も近いものをお選びください。

- ① 総合的にみて、治水、利水面でダムは依然として必要とされており、重要な公共事業として継続していくべきである。
- ② 治水、利水、自然環境、財政の面でも様々な問題が起きてきており、現在のダム計画は縮小する方向で見直すべきである。
- ③ ダム政策については、様々な意見が出てきているので、多面的な視点から時間をかけて検証していくべきである。
- ④ わからない。

ご回答ありがとうございました。